



様式V-1

公共工事等における新技術活用システム
事後評価結果通知書

国部整施企第82号

平成20年10月9日

オーナーシステム株式会社
代表取締役 永見 博希 殿

国土交通省
中部地方整備局長
佐藤 直 良



平成17年6月10日付をもって申請のありました技術について、新技術活用評価会議における評価の結果を様式V-3、V-5のとおり通知します。なお、評価結果についてはNETISに様式V-5を掲載します。

記

1. 技術名称 : 無水掘工法
2. NETIS登録番号 : KK-980068-V
3. 評価結果 : V-3、V-5のとおり

異議申し立てについて

上記について異議がある場合は、事後評価結果を通知した翌日から起算して10日以内に整備局長あてに異議理由を明示した書面を提出することにより、異議申し立てを行うことができます。

(提出先)

中部地方整備局
新技術活用評価会議事務局

活用効果評価結果

技 術 名 称	無水掘工法 (NETIS 登録番号:KK-980068-V)
申 請 者 名	オーナーシステム株式会社

評 価 結 果	総合的に従来技術に比べて活用の効果は同程度であるが、経済性・工程については、従来技術より優れている。また、活用条件の違いによる評価のバラツキがある。
---------	--

技 術 の 成 立 性	技術として成立している
従来技術に対する優位性	従来技術と同等
評価の安定性	安定性が確認されない
現場適用性 (高評価の活用工事の割合)	従来技術と同等
留意・指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軽量削孔機を使用するため削孔機の移動・セットが容易である。 ・ 狭い足場で施工が可能であることから、足場の組み立てに要する時間が短縮でき、狭小現場などの制約がある場合は効果的であるが、足場幅が 1.6m では、作業スペースが充分といえず安全管理に注意する必要がある。 ・ 複数段足場や横移動の必要がある現場、起伏の激しい現場などでは、足場幅の拡幅を検討する必要がある。 ・ 削孔機を直接足場に固定するため、足場の強度及び壁つなぎは十分に検討を行う必要がある。 ・ 騒音と粉塵処理に問題があり、都市部や住宅地での施工時には、これらの問題に対する対処する必要がある。 ・ レキ質土では削孔スピードは速いが、玉石層では硬いだけでなくロッドが引っかけやすく、土質条件などにより施工速度及び施工方法が変わってくるので、事前に土質条件や地下水を把握しておく必要がある。
従 来 技 術	ロータリーパーカッションによる泥水掘二重管工法